

広報・教育部門

応募事例名

下水道の価値を“見える”言葉に

～熊本市における下水道の戦略的広報と現場発信の実践～

応募団体名)熊本市上下水道局

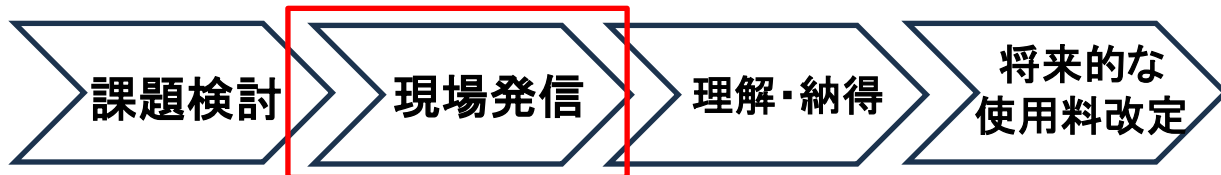
応募事例の概要

- 下水道老朽化対策工事(耐震化)を市長自ら視察
- 「ゆっくり解説」を用いて下水道事業をわかりやすく発信

応募事例の内容

課題:下水道は市民に役割や重要性が伝わりにくい

★戦略的広報による市民理解の向上



- 下水道老朽化対策工事(耐震化)を
大西一史熊本市長が視察 R7.10.23



- YouTubeにて視察の様子を動画発信
R7.11.18公開



PRポイント

- 市長自ら視察することで下水道を身近なものとして発信
- 市民目線の実況で下水道の価値を“見える”言葉に
- 「ゆっくり実況」を用いて事業に馴染みが少ない10～30代にもアプローチ
- 将来予想される使用料改定に向けて下水道事業を知ってもらうための戦略的広報

取組に関するエピソード

今回の取組において、私はYouTube動画の作成を担当しました。その過程で、市民の皆さまに熊本市の下水道事業をより分かりやすく伝えるための構成や表現に苦慮しました。今後も、市民の皆さまに下水道事業への理解と納得を一層深めていただけるよう、効果的な広報に努めていきます。

総務課 主事
宮本 星来